

定期試験で100点満点を取るには

- 教科書を十分「理解」した後に、スミからスミまで正確に覚え切ること -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

(1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

先週の「開倫塾の時間」では、5月3日の憲法記念日にちなんで、憲法の「人身の自由」のところを少し紹介させていただきました。憲法の規定をたくさん読んでいただいて、自分の身は自分で守る・自分の権利は自分で守るということを買っていただければと思います。

(2)今日は、間もなく中間テストがありますので、その対策の仕方についてお話させていただきます。

2. 定期試験で100点満点を取るには - 教科書を十分「理解」した後に、スミからスミまで正確に覚え切ること -

(1)中間テストは、学校での教科書をもとにした学習に応じて出題される試験で、期末テスト同様非常に大事なものです。

中間テストに向けての準備で大事なことの第1は、「中間テストで100点を取る」と決意することです。中間テストと期末テスト、いわゆる学校の定期テストにはそれほど難しい問題は出ませんので、100点を取ろうと思えば全科目で100点を取ることができます。

ただ、試験ですからかなりの準備と努力が必要で、普通にしていたのでは100点は取れません。ですから、最初に「100点を取るんだ」と決意することが一番大事です。

(2)試験日はだいたい決まっていると思います。5月18日の週、25日の週、あるいは6月第1週頃でしょうか。試験の日程がわかったら、2番目には試験範囲表を各科目ごとに作っていただきたいと思います。各担当の先生から、教科書の何ページから何ページまで出る、英語では何課が出るというように示されますので、科目ごとに試験の範囲表を作って、ノートや机の前に張っておくことが大事です。

試験範囲がまだ示されていないときは、テストまでには授業がどのくらい進むかは頭を使えばわかりますので、推定して範囲表を作って下さい。

(3)3番目は、何を・何で勉強するかを決めて下さい。学校の教科書、学校で指定された問題集、

学校の授業中に取ったノート、学校から配付された資料集、この四大教材が最も大事です。おそらくこの中からしか定期テストの問題は出題されないからです。99%はここから出ます。

(4)では、それをどのように勉強すればよいかですが、内容をよく「理解」した上でスミからスミまですべて暗記することです。このスミからスミまで暗記するにあたって、教科書やノートに何が書いてあるかわからないのでは困ってしまいます。十分「理解」していない、ときには教科書やノートをもう一度辞書や参考書を用いて自分で勉強しましょう。辞書や参考書を使ってもわからないときは、学校の先生に聞いて下さい。もし学習塾に行っているのであれば、その先生に聞きに行くことです。また、家庭教師の先生がいるのであれば、その先生に聞くことです。つまり、自分の力だけでは解けないところは、学校や塾、家庭教師などの先生方にお聞きすることが大事です。

お友達に聞くことも考えられますが、その友達が特別に勉強のできる人であれば別ですが、そうでない場合はあまり有効ではないかも知れません。ですから、試験範囲についてよくわからないところを聞くのであればやはり先生です。

このようにして、まずは、教科書に書いてあること、問題集の問題、ノートに書いてあること、資料集に書いてあることがよくわかるようにする、つまり、「理解」することです。

(5)それができたら、次は、1つの科目ごとにスミからスミまですべて覚えます。覚えるためにはどういうことをしたらよいかと言いますと、3つの方法があります。

1つは、教科書などに書いてあることが口をついてスラスラ言えるようになることです。このために必要なのは「音読練習」、つまり一度勉強してよく理解した教科書や問題集、ノート、資料集などを声を出して読むことです。これを何回も何十回も、何百回も繰り返すと、理解した中身が口をついて出るまでになります。

それから、テストは書けなければ点数になりません。ですから、2つめは、何も見ないで正確に書けるようにすることです。できれば教科書に出ている表や図はすべて正確に書けるようにします。こうしておく、表や図の問題が出たときにそっくり書くことができ、点数にすることができます。これに必要なのは「書き取り練習」です。英語はスペリング、国語は漢字の書き取り練習などもする必要があります。すべての科目で書き取り練習をしましょう。

3つめは、なぜそのような答えになるか、一度よく理解でき、解けるようになった問題については、問題を見た瞬間にパッパッと答えが出るまでにすることです。

(ア)例えば 5×3 を計算する問題では、5に3をかけることがどのようなことかわかった「理解」できたら、パッと15と答えられたほうがよいのです。

(イ)日本国憲法の三大原理は何かと問われたら、憲法とは、原理とは、国民主権とは、平和主義とは、基本的人権の尊重とはそれぞれ何かという意味が十分わかった上で、問題を見た瞬間にパッパッパッと「国民主権」「平和主義」「基本的人権の尊重」と答えが出せるようになることがよいのです。

(ウ)国語も数学も理科も社会も英語も、教科書にある問題、問題集にある問題などはすべて、問題を見た瞬間にパッと答えが出るまでにすることが大事です。

(エ)これを「計算・問題練習」と言います。この「計算・問題練習」と、何も見ないで表や図までかけるようにする「書き取り練習」、何も見ないで口をついてスラスラ言えるようにする「音読練習」の3つをすれば、中間テストや期末テストではどの科目もほとんど100点が取れます。

(3)これに加えて、過去に出題された問題(昨年出た問題・一昨年に出た問題)を公表して下さる学校の先生もいらっしゃると思いますので、その過去問を解いてみることです。回数は、同じ問題を5～6回解くことが大事です。

3. おわりに

(1)繰り返し繰り返し、教科書や問題集、ノート、資料集を辞書や参考書を活用しながら勉強し、スミからスミまで一言一句にいたるまで全部覚えてしまう、これが中間テストで100点を取るコツです。誰でも100点が取れますので、今お話した方法でやってみてください。

(2)100点を取る決意をし、範囲表を作り、スミからスミまで暗記する。これを徹底してよい点数を取り、その科目を大好きになっていただくことを希望いたします。

[コメント]

どのようにすれば、学校の定期テストで100点満点がとれるか。CRT 栃木放送の開倫塾の時間では22年以上お話をさせて頂いている。開倫塾の月刊誌「開倫塾ニュース」や「塾長通信」でも毎月のようにこの方法をお伝えしている。一日も早くこの方法を CRT 栃木放送をお聴き下さっている視聴者の皆様と、開倫塾の塾生、保護者、地域社会、そして何よりも栃木県内の学校や予備校、学習塾などで教えている先生方、開倫塾で教えている先生方にお伝えしたい、その一念のためである。誰でもできる方法なのでどうか成果を挙げて頂きたい。

- 2009年9月15日 林 明夫記 -